

授業科目	*児童・家庭福祉				単位	2		
履修	必修	関連資格	社会福祉士 保育士		ナンバリング	WE21218J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP3-1			
担当教員	山根 正夫							
授業概要	<p>実務家教員担当科目</p> <p>実務家教員として、児童福祉施設での指導員の経験を踏まえて、現代の子どもと家庭を巡る、生活の実態、社会状況、ニーズの概要、これまでの歴史的変遷、今日の児童家庭福祉の現状と課題、およびソーシャルワークに必要な各々のせいだやサービスの内容、社会資源、コラボレーションのあり方について解説する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 児童が権利の主体であることを踏まえ、児童家庭及び妊産婦の生活とそれを取り巻く社会環境について理解する。</li> <li>2 児童福祉の歴史と児童観の変遷や制度の発展過程を理解する。</li> <li>3 児童や家庭福祉に係る法制度について理解する。</li> <li>4 児童や家庭福祉領域における支援の仕組みと方法、社会福祉士の役割について理解する。</li> <li>5 児童・家庭及び妊産婦の生活課題を踏まえて、適切な支援の在り方を理解する。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	40						40	
知識・理解 (DP1-2)	40						40	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	20						20	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
定期試験の結果で90%達成できている。				定期試験の結果で70%達成できている。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	オリエンテーション 一授業概要の説明及び現代の児童・家庭福祉についての基本的視点を解説する。	講義 以下同様	テキストの該当箇所の予習。 授業で紹介する文献等で学習を深める。	30分 以下同様
2	現代社会と児童・家庭福祉 一少子社会における児童と家庭の現状について解説する。	同上	同上	
3	子ども・児童・家族・家庭の概念 一児童や家庭の捉え方について解説する。	同上	同上	
4	児童福祉の歴史 一英米における児童福祉の歴史について解説する。	同上	同上	
5	児童福祉の歴史 一我が国の児童福祉の歴史について解説する。	同上	同上	
6	児童の権利 一児童の権利とその歴史について解説する。	同上	同上	
7	児童家庭福祉と法体系 一児童家庭福祉に係る条約・法体系について解説する。	同上	同上	
8	児童家庭福祉の実施体制 一児童家庭福祉に係る実施体制について解説する。	同上	同上	
9	子どもの貧困問題 一子どもと貧困についての現状と課題について解説する。	同上	同上	
10	保護を要する児童と社会的養護 一社会的養護の現状と課題について解説する。	同上	同上	
11	児童虐待 一児童虐待についての現状と課題、マルトリートメントについて解説する。	同上		
12	いじめ問題 一いじめの問題の現状と課題について解説する。	同上		
13	少年非行 一少年非行の捉え方、今日の現状と課題について解説する。	同上	同上	
14	子ども子育て支援 一少子時代の子ども子育てに関わる内容について解説する。	同上	同上	
15	全体のまとめ 一児童家庭福祉分野におけるソーシャルワーク実践と合わせて解説する。	同上	同上	
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	各課題についてのテキスト該当箇所を読んでおいて受講して下さい。 内容が多岐に渡り制度や施策が変化しています。歴史的視点のみならず社会学的視点などが求められます、これらの視点についても復讐しておいてください。			
テキスト	児童・家庭福祉 中央法規			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	児童家庭福祉に関する特定のテーマを論述している文献等を紹介します。講義内容の深化のためにも参考にして下さい。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	学習内容は多岐に渡ります。また、価値観によって様々な課題の捉え方が異なることもあります。疑問をもったことなどについては積極的質問してください。			
達成度評価に関するコメント	定期試験によって達成度の評価を行います。			

